

湘南乃海 桃太郎

多くの力士から学ぶべき心技体を吸収しながら、
唯一無双の力士となるべく
さらに稽古を積み重ねていく所存です。
高田川親方の指導のもと
ご期待にお応えできるよう努力して参ります。
今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

勝敗表

年	場所	初日	日															地位	初土俵以来成績	身長/体重/年齢	備考
			2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15					
平成26年	2月18日																新弟子		191cm/140kg/15歳	新弟子検査・合格	
	3月場所	○	-	○	-	●	-	●	-	○	-	●	-	○	-	○	西/序ノ口15	4勝3敗	16歳	初土俵/二番出世	
	5月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	西/序二段73	10勝4敗			
	7月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	東/序二段3	14勝7敗	192cm/135kg		
	9月場所	-	●	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	東/三段目83	16勝12敗			
平成27年	11月場所	-	●	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	東/三段目83	16勝12敗			
	1月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	西/序二段12	21勝14敗			
	3月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	西/三段目77	23勝19敗			
	5月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	東/序二段10	26勝23敗	17歳		
	7月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	東/序二段29	31勝25敗			
平成28年	9月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	西/三段目93	34勝29敗	192cm/142kg		
	11月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	東/序二段11	39勝31敗			
	1月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	西/三段目75	43勝34敗			
	3月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	東/三段目57	48勝36敗			
	5月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	東/三段目29	52勝39敗	18歳		
平成29年	7月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	東/三段目18	56勝42敗			
	9月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	西/三段目8	60勝45敗	192cm/160kg		
	11月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	東/幕下59	64勝48敗			
	1月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	西/幕下48	68勝51敗			
	3月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	東/幕下40	71勝55敗			
平成30年	5月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	東/幕下48	72勝61敗	19歳		
	7月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	東/三段目23	78勝62敗			
	9月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	西/幕下44	84勝63敗	193cm/165kg		
	11月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	西/幕下18	89勝65敗			
	1月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	東/幕下9	92勝69敗			
平成31年/令和元年	3月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	西/幕下13	96勝72敗			
	5月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	西/幕下11	99勝76敗	20歳		
	7月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	西/幕下15	100勝82敗			
	9月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	東/幕下37	104勝85敗	193cm/165kg		
	11月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	東/幕下33	108勝88敗			
令和2年	1月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	西/幕下28	114勝89敗			
	3月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	西/幕下8	118勝92敗			
	5月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	西/幕下5	119勝98敗	21歳		
	7月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	西/幕下19	123勝101敗			
	9月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	西/幕下17	128勝103敗	194cm/165kg		
令和3年	11月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	西/幕下9	131勝107敗			
	1月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	東/幕下13	134勝111敗			
	3月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	西/幕下20	137勝115敗			
	5月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	東/幕下26	141勝118敗			
	7月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	西/幕下17	145勝121敗	194cm/167kg		
令和4年	9月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	東/幕下14	148勝125敗			
	11月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	東/幕下22	153勝127敗			
	1月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	東/幕下14	156勝131敗			
	3月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	西/幕下19	160勝134敗	23歳		
	5月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	東/幕下14	164勝137敗			
令和5年	7月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	東/幕下9	168勝140敗	193cm/162kg		
	9月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	東/幕下5	170勝145敗			
	11月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	西/幕下17	174勝148敗			
	1月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	東/幕下14	179勝150敗			
	3月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	西/幕下9	182勝154敗	24歳		
令和6年	5月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	東/幕下15	188勝155敗			
	7月場所	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	西/幕下5	193勝157敗	193cm/170kg		
	9月場所	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	西/幕下筆頭	198勝159敗			

湘南乃海 桃太郎

本名:谷松 将人
生年月日:平成10年4月8日
血液型:O
出身地:神奈川県中郡大磯町
初土俵:平成26年3月場所
身長:193cm
体重:170kg
得意技:左四つ・突き・押し





湘南乃海——十両への道程——

平成十(一九九八)年四月八日、父・安隆、母・さおりの長男として、谷松将人(しょうじ)は神奈川県中郡大磯町で生まれた。出産時の体重は三二〇グラム。他の新生児と大差なかった。しかし、一歳半を過ぎた頃には、他の子どもより、頭ふたぶん大きな子どもに成長していた。父の身長が一八〇センチ、母が一六九センチと聞けば、遺伝子が引き継がれた成長ぶりであろうことは想像に難くない。

幼少期から将人は身体を動かすことが大好きで、小学生になると母方の祖父とキャッチボールで遊んだという。

「初めておじいちゃんとキャッチボールで遊んでもらったのは、小学一年生か二年生のときだったと思います。もともと父も母方の叔父も野球経験者だったので、自然な流れでした」

小学三年生のとき、地元の軟式少年野球チームに入団。本格的に野球に取り組むようになった。小学生のときの将人は、すでに学校中で知られる大きな子どもだった。母は、「運動会などの学校行事のときや集合写真を見るときに、保護者が自分の子どもの居場所を確認する際、「将人から右、三番目にいる」といった具合に、将人を目印に教えられたと聞いたことがあります」と語る。必然、野球チームでも思われた体軀を生かして活躍。レギュラーメンバーとなった高学年では、投手兼四番バッターを担った。

しかし、順風満帆な日々は長く続かなかった。成長速度と負荷がかかる運動に身体が付いていけず、腰椎分離症を発症してしまったのである。

「小学校の卒業が近い時期でした。大磯町の選抜チームに入れることになったものの、この怪我を諦めました。中学校に入学してからも、形だけ運動部に入りましたが、身体を動かさない状況が二年も続いた。あの頃は、本当に「こみました」と、将人は迷っている。

したタイミングで将人に新たな選択肢を用意した。相撲である。自身が心動かされたドラマ「千代の富士物語」の映像を探し出して見せた。もともと力士を「格好良くない」と思っていた将人たちが、ドラマにはまり、相撲と力士の概念を大きく変えることになったという。

中学三年生の夏、将人は相撲の道に進むことを決心。父とともに相撲部屋への見学準備を進めながら、力士となるための基礎トレーニングを始めた。

「近くの公園でバソツ一枚になって、四肢を二時間、腕立て伏せ三十回を十セット、すり足、腰腕りといった内容です。大晦日も元旦も休みなし。高田川部屋に入るまで毎日続けていました」

これだけ専門的で、かつ厳しいトレーニングを入門前に積めたことには理由がある。父が明かす。

「私はわんぱく相撲の経験者で、基本は知っていました。また、学生時代に本格的に野球に取り組んでおり、このくらいのことをこなせなければ、そもそもプロは無理だと考えていたのです」

基礎トレーニングを始めると同時に、父子ふたりは相撲部屋の見学も始めた。最初に訪れたのは高田川部屋。その後、いくつもの部屋に足を運んだ。将人にとって高田川親方は一番怖く感じた親方であるうえ、「高田川部屋は最も稽古が厳しいという話も聞いており、少なからずためらいがあった。それでも、親方の「日本のヒーローになれ」という言葉に心打たれ、自ら高田川部屋を選んだ。「やはり厳しいところに身を置くべきだろう」と。私には憧れや目標の力士はいません。強い力士の良いところを吸収して、自分独自のスタイルで勝つことができる、唯一の存在になりたいのです」

初土俵から九年。心技体を磨き続けた唯一無双の先に見据えるものは何かと問うと、迷いなく「横綱です」と答えた。(文中敬称略)